

公益社団法人日本地球惑星科学連合

2020 年度第 1 回理事会議事録

1. 開催日時 2020 年 6 月 24 日(水) 13:00～16:00

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 19 名
出席理事 16 名 (定足数 10 名 会議成立)

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事	川幡 穂高
理事	ウォリス サイモン
理事	田近 英一
理事	古村 孝志
理事	阿部 なつ江
理事	市川 洋
理事	小口 千明
理事	河宮 未知生
理事	木村 学
理事	倉本 圭
理事	中村 昭子
理事	西 弘嗣
理事	浜野 洋三
理事	日比谷 紀之
理事	松本 淳
理事	道林 克禎
監事	加藤 照之
監事	鈴木 善和
監事	氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント
大気水圏科学セクションプレジデント

高橋 幸弘
蒲生俊敬

大気水圏科学セクションバイスプレジデント	谷口 真人
大気水圏科学セクション幹事	川合 義美
地球人間圏科学セクションプレジデント	奥村 晃史
固体地球科学セクションプレジデント	大谷 栄治
固体地球科学セクションバイスプレジデント	田中 聡
地球生命科学セクションプレジデント	遠藤 一佳
地球生命科学セクションバイスプレジデント	小林 憲正
地球生命科学セクションバイスプレジデント	磯崎 行雄
学協会長会議議長	榎並正樹
JpGU-AGU 2020 大会タスクフォース主査	末廣 潔
大会運営委員	和田 浩二
大会運営委員	興野 純
大会運営委員	中川 貴司
プログラム委員長	稲垣 史生

午後 13 時 00 分、定数に達したので川幡穂高会長が開会を宣した。インターネット電話 ZOOM を利用し、参加者全員が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

環境災害対応委員会、ダイバーシティ推進委員会、ジャーナル編集委員会の新規委員を承認した。

第 3 号議案 投稿料返金の件

ユニオンセッションの一部について

COVID-19 の伴うオンライン大会への変更(U-07, U-08, U-09), スペシャルセッションの開催(U-22, U-23, U24, U25)などの特殊事情の鑑み、該当セッションの一部の発表について投稿料を返金あるいは来年への繰り延べすることを検討した。また, MOU を結んでいる EGU, CGU の Presidents について参加料を無料にすることを承認した。

第 4 号議案 総会議事および決算等の承認

総会議事および資料を検討した。西理事より事業報告および事業計画について、また河宮

理事より決算および予算案についての説明があり、これを社員総会に提出することを承認した。総会資料を承認した。なお資料のうち倫理規則の文言に誤りがあったのでこれを修正することとなった。

事業計画及び予算案は、3月末に内閣府に提出したものと同一の内容である。その後、COVID-19の拡大により、大会はオンライン開催へと大きく変更する決定を4月10日の臨時理事会でおこなった。しかし、現時点で参加登録料を支払う参加者の人数の予測が不可能である。そこで、収入の見通しが可能となる夏以降に補正予算を組み、理事会で検討した後、秋頃、臨時社員総会を開催する予定である。その場で、JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual 大会の報告、計画変更、補正予算、今後の方針を提示し、議論を行えるよう準備を行うこととなった。

第 5号議案 2021年大会日程の件

2021年大会の開催期間を2021年5月30日より6月3日から、2021年5月30日より6月1日に短縮することを承認した。なお、来年は、神奈川県横浜市 パシフィコ横浜ノースでの開催を予定している。

第 6号議案 JpGU 受賞者への PEPS への Review 論文執筆依頼について

JpGU 受賞者への PEPS への Review 論文執筆依頼について検討し、承認された。なお強制ではないので依頼文もそれに留意することとなった。

第 7号議案 フェロー審査規則改訂の件

フェロー審査規則改訂について検討し、継続審議とした。

第 8号議案 その他

(1) 用途を指定した特別寄附金の申し出があったため、受け入れを審議し、承認された。

(2) 次期理事会への引き継ぎ事項を検討し、以下の事項をお願いすることとなった。

1. 女性の会長、副会長の就任
2. 東京大学以外の所属の会長、副会長の就任
3. 科学分野のバランスも考慮した会長、副会長、総務委員長、財務委員長の選出
4. 国際協調：AGU, EGU, AOGS の年會に、必ず会長・副会長の1名以上の出席
5. 将来展望を見据えた経営（健全な経営のための財政運営、価値の創出）の推進
6. Geoethics の積極的促進

また若手の意見を積極的に取り入れるべきとのコメントがあり、具体例としてセクションボードを活用することで制度に捉われることなく意見を取り入れることができることが挙げられた。

3. 報告事項

1. 川幡穂高代表理事職務報告

大会に向けた準備状況全体について報告があった。会長、副会長、総務委員長、財務委員長、大会準備委員会委員、プログラム委員長、事務局長、事務局員などを中心としたメンバーで、通称「月曜日会議」を毎週開催し、6月22日で15回となり、参加者各自の仕事について謝意が表明された。なお、将来同様な感染症の拡大の可能性もあるので、議事メモを最終的に整理し、保存する方針である。

「月曜日会議」で話題となった将来の方針について紹介があった。本年 COVID-19 により現地での共同開催が不可能となり、Virtual へ移行した。iPoster は 2017 年から AGU が試行錯誤も含めて発展させてきたもので、今回、この実績に依存した側面がある。AGU との協力関係を継続・強化する、virtual の永続的な効用を見極め（「参加者の旅費が発生しないことは利点、参加料金については要検討」特に、大会の国際的オープン化には日本と同じ時間帯のアジアやオセアニア地区との関係強化、AGU とともに EGU などとも共同セッションなどの開催など）が指摘された。一方、「JPGU 参加学協会との連携強化」、「途上国対応」、「今年の virtual 大会の今後は継続的な発展も含めて検討、この中には財政的な側面も考慮する必要あり」なども重要な要素である。将来の方針の議論には、財政、協力、共同などがキーワードとなる。

2. ウォリス・サイモン理事（グローバル戦略担当）職務報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。JpGU-AGU 2020 Joint Meeting と 2021 年大会についての準備状況が報告された。

3. 田近英一理事（広報普及・30周年記念事業担当）職務報告

広報普及委員会の活動報告ならびに 30 周年記念事業報告があった。記念出版本の刊行、ならびにピンバッジの製作について報告があった。ピンバッジについては来年の大会で配布する予定である。

JGL については 2 月号以降発行していないが、7 月に大会プログラムとしての JGL を発行する。秋号についても何らかの形で発行する。

高校生セッションはオンライン大会にて開催準備を進めている。ハイライトは制作しない。

個別のセッションの周知事項についてはメールニュース掲載はしてこなかったが、セッションからのお知らせであっても、全体への情報として周知すべき項目はメールニュースを活用してほしいとのお知らせがあった。

4. 西弘嗣理事（総務担当）職務報告

前回理事会以降、後援した案件について報告があった。

5. 財務委員会活動報告

河宮理事から、連合の財務状況について報告があった。現段階では、本年度の委員会活動のための予算については、これまでの理事会での決定された内容を継続することが了承された。但し、連合全体の活動にとり重要な事項の支出は、財務委員会で検討し、最終的に理事会で議論して決定することが了承された。

6. 大会運営委員会活動報告

浜野理事より大会運営委員会の活動報告があった。

ネット開催コア和田リードより、準備状況の報告があった。

大会の全体像を示すための概念図や短時間のムービーを作成し公開の予定である。

当日の運営は各大学の協力を仰ぎ分散型の拠点にて Zoom を管理する。研究者を大会運営特任管理官、学生アルバイトを補佐官として担当していただく。

特任管理官は、オンラインの会場におけるネット環境、特に事故などへの対処も含め管理の権限を有することを了承した。今年は本来幕張での会場開催を予定していたが、COVID-19 の急速な拡大に伴いオンライン Virtual 大会に急遽変更となり、そのコアとなる重要な任務を遂行していただくのが、特任管理官であるので、2021 年度の大会で、何らかの特典を考えることが了承された。なお、連合としての謝意は HP などを通じて表すこととなった。

Zoom live は全て録画し、大会後に期間限定、大会参加者限定で公開することを予定している。ダウンロード不可に設定したファイルをポータルに掲載する。

学生優秀発表賞は、さまざまな検討したが、オンライン Virtual による評価の公平性、評価法の問題から今回は実施しないこととなった。代替えとして、ネット開催コア委員会が、希望する学生の iPoster に対して積極的なコメントを推奨するキャンペーンを検討していることが紹介された。

JpGU AGU 両会長のトーク、各レクチャ、講演会等のイベント準備状況が報告された。

キャリアパスブースについては今回もオンラインで開催するとの報告があった。

展示企画の準備状況についても報告があった。道林理事から、出展勧誘の協力依頼、クイズラリー参加の協力依頼、クイズラリー用景品の提供依頼があった。

川幡会長から、地球惑星科学に関係した学生も COVID-19 で授業も含め大学生活にストレスもあるかもしれないので、「今回の大会はオンライン Virtual で、学部生は無料でもあるので」ご招待という意味も含めて、理事会参加者に対して学生への参加呼びかけをするよう依頼があった。

7. JpGU-AGU JointMeeting 2020 大会タスクフォース活動報告

末廣主査より JpGU-AGU JointMeeting2020 大会タスクフォースの活動報告があった。

オンライン化決定以降、AGU とは毎週会合を行い、JpGU 側からも多数が参加し、連携して

準備を進めている。AGUniverse への掲載など大きな協力を得ている。現在は各種イベント、プレス対応について検討し準備を続けている。

8. 教育検討委員会活動報告

市川理事より教育検討委員会の活動報告があった。全国地学教育関係者オンライン情報交換会の活動報告、教員免許更新講習の準備・募集状況、地学オリンピック日本委員会ならびに国際地理オリンピック日本委員会の活動報告、その他教育検討委員会会議準備、理数系学会教育問題連絡会の活動報告があった。

9. 顕彰委員会活動報告

中村理事より顕彰委員会の活動報告があった。

「フェローの総数の目安を全会員の 1%程度とする」ことを公表することが提案され、理事会として了承した。なお、本件は、フェロー制度を創設した時の議論において、理事会で了承されていた。今回の措置は「文言できちんと表示」するためのものである。

10. ジャーナル編集委員会活動報告

倉本理事よりジャーナル編集委員会の活動報告があった。投稿・出版とも順調に推移している。PEPS の各賞について推薦し、企画経営委員会により承認された。

11. 固体惑星科学セクション活動報告

大谷セクションプレジデントより固体惑星科学セクション活動報告があった。セクションボード会合を行った。フォーカスグループの活動を承認した。現執行部から次期執行部を承認した。JpGU-AGU 2020 Joint Meeting の準備状況と協力体制の確認をしたことについて報告があった。

12. 日本学術会議からの報告

木村理事より日本学術会議からの報告があった。日本学術会議地球惑星科学委員会、地球惑星科学人材育成分科会より、提言「初等中等教育および生涯教育における地球教育の重要性：変動する地球に生きるための素養として」が発出された。

例年連合大会期間中に開催している関連学科専攻長会議は開催しないが、学術会議から関連学科専攻長会議へ、JpGU-AGU 2020 Joint Meeting への若手研究者の参加推進の依頼があった。

オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会の提言「オープンサイエンスの深化と推進に向けて」、地球人間圏分科会の提言「災害が激化する時代に地域社会の脆弱化をどう防ぐか」が発出されたことも紹介された。

田近理事より、地球惑星科学分野における科学・夢ロードマップの改訂、防災学術連携体

からのメッセージが紹介された。

2020年6月24日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第1回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	市川	洋	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	松本	淳	印
出席理事	道林	克禎	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	氷見山	幸夫	印